

図書館だより

10月号（令和7年10月9日）

川上中学校学校司書 中西 勝

さわやかに、秋澄む

10月の異称は、神無月です。この月は、日本中の神々が出雲大社（島根県）に集まると古くから信じられていました。そのため、他の地方では、“神が不在になるので神無月”が語源です。しかし、出雲には神がいるので、出雲に限って神在月と呼ばれ、神在祭が行われます。夏の猛暑がようやく過ぎ、清々しく



澄み渡る秋の空、月や星までもがはっきり見えてきます。「秋澄む」「水澄む」は秋の季語としてよく使われていますが、「澄む」の語感が秋のさわやかさを表しているといえます。

「図書館の利用法をあらためよう」～10月：図書委員会目標～

最近大声を出して話したり、騒いだりする人が増えています。他の人の迷惑にならないように利用してください。みんなにとって居心地の良い場所にしましょう。

《お知らせ》

2学期に入って1か月以上たちました。夏休み前に本を借りたまま返却していない人がいます。その本を読みたいと思っている人がいます。早く返却してください。

今月のおすすめの本

『面白くて眠れなくなる**物理**』 左巻健男(著) 東京大学非常勤講師

のめり込まずにいられない物理の誘惑。食わず嫌いを取り払う読み物とパズルの二本立て。
ファラデーの好奇心に満ちた科学の探検を意識しながら著者が書き進めています。